

1

芹沢銈介の絵本と挿絵

2023年4月4日(火)～6月18日(日)



芹沢銈介の絵本

小学生のころから絵本作りが好きだったという芹沢銈介は、染色家としてデビューした後、生涯に50冊にも及ぶ絵本を制作し、愛好家からは「芹沢本」と呼ばれ親しまれました。この展覧会では芹沢の絵本20冊と、小説や物語などの挿絵50点を中心に展示し、絵本や挿絵の世界に残した芹沢の大きな足跡をごらんいただきます。

展示室後半には、芹沢銈介の収集品から「日本の絵画」を特集し、屏風、仏画、大津絵、泥絵、奈良絵本など50点を展示します。

休館日：毎週月曜日

展示替休館：6月19日(月)～7月3日(月) ※展示替期間中は全館休館いたします。

2

暮らしにとけこむ型染

— 芹沢染紙研究所の仕事 —

2023年7月4日(火)～9月24日(日)



「昭和43年9月 型染カレンダー」(1967)

芹沢銈介は作家として型染の芸術性を追求し、国外でも高い評価を受けている一方、型染の特徴を活かした量産への強い希望を持っていました。1955(昭和30)年、自邸内に芹沢染紙研究所を設立、カレンダー、うちわ、グリーティングカード、包装紙、額絵、絵葉書、風呂敷、ふきんなど、多彩な日用品を生産し、芹沢の模様は人々の生活の中にとけこんでいきました。芹沢染紙研究所で制作された300点の品々を通じて、その仕事の豊かさをご覧ください。(※収集品は展示されません。)

休館日：毎週月曜日(7/17、9/18は開館)、7/18、9/19

展示替休館：9月25日(月)～10月6日(金) ※展示替期間中は全館休館いたします。

静岡市立芹沢銈介美術館

年間展示スケジュール

2023-2024



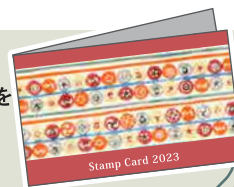
2023年度、静岡市立芹沢銈介美術館では4回の展覧会を開催します。芹沢銈介は、豊かな色彩感覚と模様に対する天与の才能を生かし、非常に多くの作品を残しました。その多彩で幅広い仕事をテーマごとに焦点を絞ってご紹介します。また、芹沢が自らの目を通して集めた収集品もあわせて展示いたします。さまざまな角度から、偉大な芸術家・芹沢銈介の世界をご堪能ください。

※展覧会期間中、さまざまなイベントを予定しています。
詳細は当館HPをご覧ください。

スタンプカード2023

2023年度の4回の展覧会で押印するスタンプをすべて集めた方には、景品をさしあげます。

※スタンプカードは「芹沢銈介の絵本と挿絵」展をご覧くださいの方に配布します。



芹沢銈介ののれん

2023年10月7日(土)～12月10日(日)

芹沢は染色に専念するようになった30代から持ち前の卓越したデザイン力を発揮し、文字、風景、人物、工芸品など多彩な模様を、次々にのれんに表現していきました。その数は少なくとも300種以上にのぼり、巨匠として国際的な評価を得た80代に至るまで途切れることなく制作が続けられました。この展覧会では、初期から晩年までののれん50点を幅広くごらんいただきます。

展示室後半の3室には、芹沢銈介の収集品の中から、台湾先住民の工芸品をご紹介します。



「御滝園のれん」(1962)

休館日：毎週月曜日(10/9は開館)、10/10、11/24

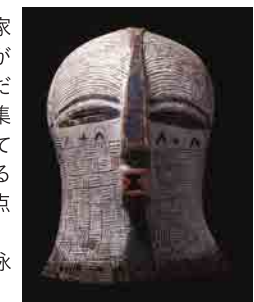
展示替休館：12月11日(月)～1月3日(水) ※展示替期間中は全館休館いたします。

芹沢銈介の収集 海外篇

2024年1月4日(木)～3月17日(日)

芹沢銈介は、世界の工芸品を集めた収集家としても広く知られています。徹底して自分が好きだと思ふもの、よいと思ふものだけを選んだことが芹沢の収集の特徴で、それにより収集全体が芹沢の「もう一つの創造」へと昇華しています。この展覧会では、当館が所蔵する4500点の収集品の中から海外の品々300点をご紹介します。

展示室の前半には、「ばんどり図二曲屏風」「鯛泳ぐ文着物」といった代表作もあわせて展示します。



仮面(コンゴ民主共和国・ソンゲ族)

休館日：毎週月曜日(1/8、2/12は開館)、1/9、2/13

展示替休館：3月18日(月)～来年度展覧会開始日(未定)

※展示替期間中は全館休館いたします。

休館日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
		1	1 2 3 4 5 6	1 2 3	1	1 2 3 4 5	1 2	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1 2	1 2 3 4 5 6	1 2 3
	2 3 4 5 6 7 8	7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10	2 3 4 5 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12	3 4 5 6 7 8 9	8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10	3 4 5 6 7 8 9
	9 10 11 12 13 14 15	14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17	9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19	10 11 12 13 14 15 16	15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17	10 11 12 13 14 15 16
	16 17 18 19 20 21 22	21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24	16 17 18 19 20 21 22	20 21 22 23 24 25 26	17 18 19 20 21 22 23	22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24	17 18 19 20 21 22 23
	23 24 25 26 27 28 29	28 29 30 31	25 26 27 28 29 30	23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30 31	24 25 26 27 28 29 30	29 30 31	26 27 28 29 30	24 25 26 27 28 29 30	28 29 30 31	25 26 27 28 29	24 25 26 27 28 29 30
	30			30 31					31			31

※「芹沢銈介の家」は美術館開館日の日曜と祝日に公開しています。(8月は土曜日も見学できます)